

市の宣言
男女平等参画都市宣言
非核平和都市宣言
青少年健全育成都市宣言
交通安全都市宣言

第1288号

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

快適な街を目指し

鶴川駅北土地地区画整理事業

9月には都道の切り替えも

鶴川駅は、町田の東の玄関口にあたります。駅を起点に28路線ものバスが運行されるなど市の拠点地域の一つですが、都道・世田谷町田線の慢性的な渋滞の解消や駅利用者の安全確保などを図るため、早期の都市基盤整備が期待されています。

市では鶴川駅周辺の権利者のご協力をいただきながら、1992年7月に事業計画の認可を受け、2003年度末までの予定で鶴川駅北土地地区画整理事業を進めています。この区画整理事業により駅周辺の整備を図り、安全で災害に強いまちづくりを目指しています。



急ピッチで工事が進む鶴川駅前都道

【都市計画道路(都道世田谷町田線)】
現都道は幅員が狭いため歩道もなく危険な状態でしたが、区画整理により総幅員20メートルで整備しています。歩車道を分離して歩行者の安全を確保(歩道は4.5メートル)し、安心して歩ける道路づくりを行い、併せて電線類を地下に埋設して電柱を無くし、美しい街並みを実現します。

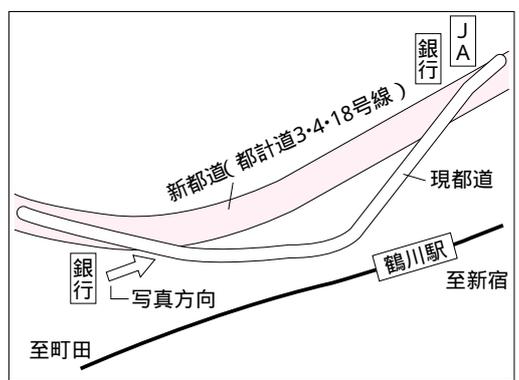
【交通広場】
駅西側の現タクシー乗り場を新たに交通広場として整備し、タクシー乗り場とは別に一般の送迎車も入れるように整備します。

【公共公益施設】
本年9月には最も混雑が激しい駅前の現都道から新都道に切り替えを行う予定で、これにより駅前の渋滞が緩和されるものと期待されます。

【鶴川駅エレベーター】
バリアフリー化の推進のため、駅利用者からも要望が強いエレベーターが今年度中に完成する予定です。

【駅周辺の活性化】
区画整理事業による都市基盤整備をきっかけに駅前の活気を出すため、権利者が共同ビルの建築を検討しており、駅前にふさわしい街並みが期待されます。

今号の第2部で予算特集号を発行しました。ぜひご覧下さい。



【町田えびね苑】
エビネ、キエビネ、タカネエビネ、など8種類10万株のエビネが群生しているほか、クマガイソウやクリソウなどの野草も觀賞できます。

開園期間 4月21日(土)～5月6日(日)
期間中は無休
開園時間 午前9時30分～午後4時
入園料 一般500円、中・高校生200円、小学生以下無料

【町田ぼたん園】
園内には170種、1100株のぼたんが植栽され色鮮やかに咲いています。

開園期間 4月21日(土)～5月6日(日)
期間中は無休
開園時間 午前9時30分～午後4時
入園料 一般500円、中・高校生200円、小学生以下無料

交通 小田急線町田駅北口POPビル先21番乗り場から本町田経由・野津田車庫行きバス、または「鶴川駅 行きバス」で、薬師ヶ丘下車、徒歩7分
駐車場が少ないため休日は大変混雑します。バスをご利用下さい。

ペットを連れての入園はできません。

町田ぼたん園 736・477、または公園緑地課 793・7611

百花繚乱 まちだ花だより

・中・高校生100円
交通 町田バスセンター1番乗り場から「藤の台団地」行きバスで「藤の台団地」下車、徒歩5分
駐車場はありません。
風雨などにより、危険と判断した時は一時閉苑します。

町田えびね苑(開苑期間中) ☎724・1668、または公園緑地課 ☎793・7611

1 町田ぼたん園
1万6000平方メートルの園内には170種、1100株のぼたんが植栽され色鮮やかに咲いています。

開園期間 4月21日(土)～5月6日(日)
期間中は無休
開園時間 午前9時30分～午後4時
入園料 一般500円、中・高校生200円、小学生以下無料

交通 小田急線町田駅北口POPビル先21番乗り場から本町田経由・野津田車庫行きバス、または「鶴川駅 行きバス」で、薬師ヶ丘下車、徒歩7分
駐車場が少ないため休日は大変混雑します。バスをご利用下さい。

ペットを連れての入園はできません。

町田ぼたん園 736・477、または公園緑地課 793・7611

市の人口が38万人を超えました

学童数も増加

市の人口は、2001年4月1日に、38万1488人(外国人登録含む)になりました。1958年(昭和33年)2月1日の市制施行時には6万9577人でしたが、その後の高度経済成長に伴う首都圏への人口集中や大規模団地の建設などにより、1965年以降10年間で14万人の増加を記録し、特に1968年(昭和43年)の1年間で2万5千人以上増加し、学校建設の急増など行政にも多大な影響をもたらしました。

しかし、その後は地価高騰などにより人口増加率が緩やかになり、1992年に35万人を超えた後、この4月に38万人に達したものです。

また、1981年以来減る傾向をみせていた公立小学校児童数が、今年4月1日現在で昨年に比べて101人増加しました。

